

(様式 1)

■ 環境省「エコツーリズム推進アドバイザー」 派遣申請書 ■

To: (財)日本交通公社「エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業」事務局

FAX:03-5208-4706 / E-mail:eco-jimu@jtb.or.jp

*派遣申請書は4枚ありますので、すべてご記入のうえ、ご送付ください。

* (財)日本交通公社がエコツーリズム推進アドバイザー派遣事業の事務局を務めております。

申請日: _____ 月 _____ 日

Q 1 派遣を希望する地域もしくは団体名をご記入ください。

--

Q 2 現在の活動状況について下記の中から1つだけ選んで○印を付けてください。

1. エコツーリズムへの取組を検討している時期 (「胎動期」)	
2. エコツーリズムへの取組をはじめて間もない時期 (「始動期」)	
3. エコツーリズムに取り組んできて改善が求められている時期 (「改善期」)	

Q 3 エコツーリズムに取り組むもしくはこれから取り組もうとする「きっかけ」についてあてはまるものすべてに○印を付けてください。

1. 従来の観光から脱して、新しい地域の魅力づくりを行うため	
2. 「自然とのふれあい」を志向する旅行者のニーズに対応するため	
3. 地域の活性化に貢献するため	
4. 地域資源の保全に対して「来訪者」の意識を高めるため	
5. 地域資源の保全に対して「地元住民」の意識を高めるため	
6. 地域の将来にわたって「自然環境や文化の保全」が特に重要な点だと考えているため	
7. 現在悪化しつつある地域の自然環境や文化の保全に役立てるため	
8. その他 (「きっかけ」について下欄にご自由にご記入ください)	

Q 4 地域もしくは団体における「エコツーリズム推進の目的」をご記入ください。

--

Q 5 エコツーリズムの対象となる「自然観光資源」についてあてはまるものすべてに○印を付けてください。また、主な自然観光資源を下欄に具体的にご記入ください。

1. 動植物 (クジラ、イルカ、ウミガメ、ホタル、チョウ、ブナなどの巨木など)	
2. 動植物の生息地・生育地 (海鳥の集団繁殖地やサンゴ礁、湿原など)	
3. 地形・地質 (滝や風穴、噴泉塔など)	
4. 自然環境と密接な関連を有する風俗習慣、その他の伝統的な生活文化に係る観光資源(※)	
5. これから地域資源の洗い出しをするため、地域資源の把握ができていない (主な自然観光資源)	

※棚田、魚垣(ながき)、半自然草原と火入れ、カバタ(湧水を家に引き込みその水を炊事や洗濯に利用する仕組み) など

Q6 エコツーリズムの推進組織の有無について該当するものに○印を付けてください。

1. 存在する	
2. 存在しない	

(Q6で「1. 存在する」と回答した場合、次のQ7～Q9にお答えください)

Q7 エコツーリズム推進組織の名称をご記入ください。

※また、また、協議会の役員一覧を本申請書に添付してください。

--

Q8 エコツーリズム推進組織の取組状況について該当するものに○印を付けてください。

1. 行政が主導的な役割を果たして活動が進められている	
2. 地元住民が主導的な役割を果たして活動が進められている	
3. 観光等の事業者が主導的な役割を果たして活動が進められている	

Q9 エコツーリズム推進組織の具体的な活動状況について、以下の空欄にご記入ください。

--

Q10 貴地域をフィールドに活動するガイド組織、エコツアー関連事業者が存在する場合、具体的な組織・事業者名称をご記入ください。また、今後、地域でエコツーリズムを推進していくにあたり、参加や連携が想定される参加者や団体などについて、ご記入ください。

	ガイド組織	エコツアー関連事業者	今後想定される参加者・団体
地域内			
地域外			

Q11 「現在取り組んでいるエコツアーの種類」及び「取り組みを検討しているエコツアーの種類」について該当するものすべてに○印を付けてください。

	現在取り組んでいる	取組を検討している	取り組む予定なし
1. 原始的な自然におけるエコツアー（トレッキングツアー、キャンプツアーなど）			
2. 地域に特有な野生生物とのふれあい（ホエールウォッチング、野鳥観察会など）			
3. 自然の営みにふれる観察会への参加（星空観察会、自然散策会など）			
4. 環境教育を主目的とした活動（修学旅行の体験プログラムなど）			
5. 農林業などの体験を通じて自然への理解を深める活動（植林・下草刈り体験など）			
6. 自然や文化に関する解説を受けながら地域を巡る活動（里山ウォーキングなど）			
7. 地域の生活や文化を体験する活動（里山の管理・再生についての学習など）			
8. 環境保全のための貢献活動（植生回復ボランティアなど）			
9. 自然の中でゆったりとした時を過ごしながら自然の恵みを体感する活動（体験滞在型観光など）			

Q 1 2 上記以外について現在取り組んでいるもの、又は検討しているものがあればご記入ください。

現在取り組んでいる	
取組を検討している	

Q 1 3 現在の地域の課題についてご記入ください。

--

Q 1 4 アドバイザー派遣の目的についてご記入ください。

--

Q 1 5 アドバイスを希望する内容にあてはまるものに○印を付けてください。

I 自然保護と地域活性化のバランスが取れた適切な受入体制	1) エコツーリズム（観光を含む）に対する意識・啓発	
	2) 自分たちが暮らす地域に対する意識・啓発、地域住民の参加	
	3) 地域資源の発見・発掘	
	4) 利用と保全のルール・仕組みづくり	
	5) オーバーユースに対するルール・保全手法の改善策	
	6) 保全にかかる費用の捻出策	
	7) 適正な取組地域の範囲（適正規模のゾーニング）	
	8) ガイドの役割に対する認識	
	9) ガイドの方法	
	10) ガイドの人材育成と品質維持	
	11) ガイド認定制度	
	12) ガイドの後継者問題	
	13) ガイド同業者団体の設立	
	14) 環境教育の実施	
	15) モニタリング	
	16) エコツーリズム推進の核となる人材の育成・組織の設立	
	17) 多様な主体間の連携、利害関係の調整、合意形成	
	18) 行政と民間との役割分担	
	19) 他地域との連携	
	20) インフラ整備、整備計画	
II エコツアーの商品化と情報発信	1) エコツアーの作り方	
	2) エコツアーの情報発信	
	3) エコツアーを業として成り立たせるための仕組みづくり	
III 環境省施策・事業の活用	1) エコツーリズム推進法の活用方法	
	2) 生物多様性保全事業の活用方法	
（その他、希望する内容があればご記入ください）		

Q16 アドバイザーの助言・指導を取組に反映させる方法についてご記入ください。

--

(参考情報)

派遣について希望があればご記入ください。(例：時期、日数、回数、アドバイザーの選定など)

--

※上記でご記入いただいた内容については、選定にあたっての参考とさせていただくものであり、必ずしもご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

●アドバイザー派遣の申請に係るご担当者の連絡先をご記入ください。

団体名		
所属	(部署名)	(役職名)
ふりがな		
ご氏名		
ご住所	〒	
TEL、FAX	(TEL)	(FAX)
eメールアドレス		